

ベトナム商工省が産業成長と電力供給を強化

2025 年 3 月 11 日 作成

カテゴリ ベトナム経済 経済動向

ベトナム商工省が産業成長と電力供給を強化

ベトナム商工省は、産業生産の強化、国内市場の拡大、輸出入の促進、国境地域の電力インフラ整備という四つの戦略を推進し、ベトナム国内経済の発展をけん引する方針を示した。2024 年の産業生産指数は前年より 13.6% 増加し、特に水力発電の成長が顕著であった。電力生産は 2,920 百万 kWh(キロワットアワー)に達し、約 2,950 億 VND の収益を生み出し、600 人以上の雇用を創出した。

商業分野では、新設・改修された市場が流通を支え、総小売売上高と消費サービスの収益は 1 兆 9,560 億 VND に達し、前年より 15.7% 増加した。さらに、新たな商業施設が開業し、消費者の利便性が向上した。輸出入も改善し、総取引額は 3 億 800 万 USD に達し、前年比 5.1% 増加した。

一方で、課題も多い。鉱業や加工産業の成長は鈍化し、採掘ライセンスの取得が困難なため、一部の鉱山は操業を停止した。また、産業団地のインフラが整備されておらず、投資誘致の障害となっている。電力供給についても、国境地域の電化率は依然として 100% に達しておらず、電力網の拡張が求められている。さらに、輸出入活動は国境の物流インフラの未整備により制約を受け、特に中国との貿易依存度の高さが経済の不安定要因となっている。

2025 年に向けて、ベトナム商工省は成長率 15% の産業生産の達成、国内市場の売上 11% 増加、輸出入総額 5 億 USD の目標を掲げ、12 の未電化村落への電力供給を完了させる計画である。そのため、省庁や地方自治体と連携し、産業投資の促進、行政手続きの簡素化、企業支援の強化を進める。違法行為の取り締まりを徹底し、公正な市場環境の整備にも取り組む。

ベトナム商工省の成功には、各機関の協力が不可欠である。鉱業の効率的な資源利用、関税政策の見直し、統計データの精度向上など、多方面での連携が求められる。2025 年に向けた計画の実現には、迅速な政策対応と投資誘致戦略の強化が必要であり、持続可能な経済発展を支える基盤を確立することが急務である。

以上